

## 生命の仕組みを探る

—いのちの統合的理解を目指す分野の垣根を越えた総力戦—

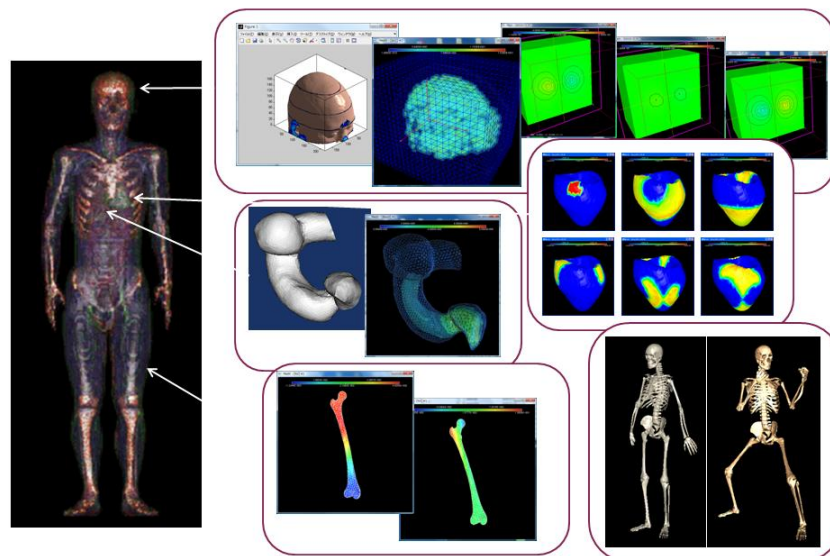
**講師** ■ 野村泰伸（大阪大学大学院基礎工学研究科・教授）

**日時** ■ 平成 23 年 3 月 9 日（水） 13:00～

**場所** ■ 豊中高等学校

この出前講義では、文部科学省のグローバル COE プログラム・大阪大学拠点「医・工・情報学融合による予測医学基盤創成」の研究推進活動を紹介します。このプロジェクトは、遺伝子、たんぱく質、細胞から、臓器、人体に至る様々なスケールにおける生命機能発現と疾病のメカニズムを、統合的に理解し、その成果に基づいて、病気の診断や治療の予測を可能にする仕組みを構築することを目指しています。

これは、21 世紀の新しい生命科学・生体医工学をつくる先進的な取り組みです。そこには、理科系の研究のみならず、生命倫理や法律などの重要な課題も関わっています。プロジェクトの紹介に加えて、大学生や大学院生、あるいは研究員や大学教員の日々の活動を、皆さんからの質問にお答えする Q&A 形式で、分かりやすく説明します。皆さんの進路について考える参考になればと期待しています。



**主催** ■ 大阪大学グローバル COE プログラム「医・工・情報学融合による予測医学基盤創成」  
（臨床医工学融合研究教育センター）

大阪大学基礎工学部

**問い合わせ先** ■ 野村泰伸（大阪大学大学院基礎工学研究科：taishin@bpe.es.osaka-u.ac.jp）